

# 薬学部学生による就実大学図書館および薬学部図書室の 利用に関するアンケート調査

A report of an availability on services in Shujitsu University library and OA library in  
Department of Pharmacy by student in 2nd to 4th grade of a school of pharmacy

柴 田 隆 司  
金 田 幸  
佐々木 寛 朗  
犬 飼 道 代

## 1. はじめに

現在の大学教育において、大学の講義を受講するという受動的行為とともに、予習や復習など学生自身による学習の積極的実践は従来に増して非常に大きなウェイトを占めている。換言するならば、学生の学習時間は講義時間と自己学習の時間の総和として理解され取得できる単位数が制限されている。この状況下にあつて、学生の学習環境としての図書館は、必要欠くべからずの位置付けである。現在、個人的利用におけるIT環境の発達には目を見張るものがあるが、図書館という存在は知的マルチメディアを具有する施設として、学生の学習支援を目的に、さらに機能しなければならないと考えられる<sup>1)</sup>。

著者らは、薬学部の図書委員という立場から、薬学部学生による就実大学図書館および薬学部図書室の利用に関して、アンケート形式による調査を行った。利用状況の調査以外に、利用状況を改善させる環境づくりについても考察する。

## 2. 方 法

就実大学図書館（以下、図書館）の利用状況調査を主体としたアンケート調査を行うとともに、学生が希望する改善項目についてはフリーコメントで抽出できるよう配慮した。さらに、薬学部学生は薬学棟4階の図書室を利用することができるので、薬学棟図書室（以下、薬図書室）の利用状況調査と改善項目についても調査を行った。

調査項目として、利用頻度、利用頻度の高いフロアー・図書カテゴリー・利用形態、蔵書検索機能の利用頻度、改善を期待している項目などとした。

調査対象の学生は、薬学部2年生、3年生、4年生とした。調査した時期が平成25年5月15日、19日と比較的、年度初めであったため、1年生は除外した。

該当する各学年に対して、著者らが担当する科目の講義の初めに下記のアンケート用紙

を配布して調査した。

今回使用したアンケート用紙の形式

## 就実大学図書館および薬学部図書室の利用状況の調査についてのアンケート

### A) 就実大学図書館の利用状況

1) ひと月あたりの図書館の利用頻度について該当するものを選んでください (1つ選択)

1. 利用しない    2. 1回以下    3. 1～2回    4. 3～4回    5. 5～8回    6. 9回以上

2) 利用する主な階を選んでください (複数選択)

1. 1階    2. 2階    3. 3階    4. 4階    5. 5階    6. 地階

3) 利用する主な図書のカテゴリーを選んでください (複数選択)

1. 教養自然科学    2. 人文科学    3. 社会科学    4. 語学    5. 専門科目    6. 新聞その他

4) 利用する形態を選んでください (複数選択)

1. 閲覧    2. 借りる    3. コピー    4. 機器の利用    5. DVDの利用

5) 来館した場合の蔵書検索機能を利用する頻度 (1つ選択)

1. 利用しない    2. まれに    3. 時々    4. 毎回

6) 就実大学図書館が発行する出版物について、読んだことのあるものを選んでください (複数選択)

1. 就実紀要    2. 図書館だより    3. 薬学図書館    4. 学生リクエスト

7) 就実大学図書館に期待するものは何ですか

1. 蔵書の拡大    2. 利用冊数の増加    3. 利用期間の延長    4. 図書館設備の増設  
5. 利用方法の簡略化    6. インターネットを利用した図書閲覧

### B) 薬学部図書室 (U館4階) の利用状況について

8) ひと月あたりの図書室の利用頻度について該当するものを選んでください (1つ選択)

1. 利用しない    2. 1回以下    3. 1～2回    4. 3～4回    5. 5～8回    6. 9回以上

9) 利用する主な目的を選んでください (複数選択)

1. 蔵書の利用    2. 自習    3. インターネット回線    4. レポートの出力    5. コピー    6. 勉強会

10) 薬学部図書室に期待するものは何ですか

1. 図書室設備の増設    2. BGM    3. インターネット可能なパソコン設置    4. 空調    5. 照明

11) 就実大学図書館に望むことを自由に記載してください。

### 3. 結 果

#### A) 就実大学図書館の利用状況

図書館のフロアー構成は、1階は新聞閲覧、メディアルームが設置されている。2階がカウンター業務、新刊図書や蔵書及び雑誌の閲覧、蔵書検索システム、ビデオ貸出し、DVD閲覧、CD-ROMのコーナー、マイクロフィルム閲覧、参考書や文庫のコーナー、コピー機設置、閲覧用机、各階への連絡場所となっている。さらにフリーコーナーとして飲食可能なコーナーがある。3階は大半の面積を閲覧コーナーが占めるが、蔵書検索システム、参考書や絵本のコーナー、パソコンルーム、スタディールーム、個別閲覧室が配置されている。4階は演習室、西嶋文庫、特殊資料室が配置されている。5階にはAVホール、吉備地方文化研究所がある。地階は製本した学会誌などの保管場所となっている。

薬学部生の利用頻度の高いフロアーは2階と3階であり、両フロアーで85%以上を示した。図書・雑誌やメディアなどの閲覧や自習場所としての利用が高そうである。

各項目の集計結果は下記の学年別のアンケート集計結果に示す。

改善希望の項目として、蔵書の拡大、利用期間の延長、図書館設備の増設などが大きな希望となっている。

#### B) 薬学部図書室（U館4階）の利用状況について

薬図書室には、参考書、学会誌などが閲覧できる書棚、インターネット回線を接続できる机、コピー機設置、自習用机などが用意されている。薬学棟の閉館時刻の20時までは利用可能となっている。空調・照明などは整備されている。また、薬学棟に位置することは大きなメリットと考える。

利用頻度は、利用しない37.2% 週1回以下53.8%、週1回以上9.0%

利用目的は、自習59.8%、蔵書閲覧13.7%、コピー機利用11.4%、勉強会10.5%であった。

薬図書室に期待するものは、インターネット可能なパソコン設置34.6%、図書室設備の増設34.0%、空調の整備17.5%であった。

#### 学年別のアンケート集計結果

##### A) 就実大学図書館の利用状況

##### 1) ひと月あたりの図書館の利用頻度について該当するものを選んでください(1つ選択)

	2年	3年	4年
利用しない	24	20	25
1回以下	37	31	26
1～2回	18	18	13
3～4回	12	12	8
5～8回	7	3	4
9回以上	10	5	5
回答数	108	89	81
非利用者の割合	22.2%	22.5%	30.9%

2) 利用する主な階を選んでください(複数選択)

	2年	3年	4年
1 階	13	9	14
2 階	83	53	53
3 階	41	46	33
4 階	2	1	2
5 階	2	0	0
地 階	1	2	1
回答数	142	111	103

3) 利用する主な図書のカテゴリーを選んでください(複数選択)

	2年	3年	4年
教養自然科学	21	10	8
人文科学	2	3	5
社会科学	4	0	2
語 学	6	7	1
専門科目	62	48	47
新聞その他	40	31	30
回答数	135	99	93

4) 利用する形態を選んでください(複数選択)

	2年	3年	4年
閱 覧	72	56	54
借りる	20	20	13
コピー	14	11	11
機器の利用	12	9	6
DVDの利用	1	0	0
回答数	119	96	84

5) 来館した場合の蔵書検索機能を利用する頻度(1つ選択)

	2年	3年	4年
利用しない	59	47	47
まれに	25	22	17
時 々	14	9	7
毎 回	2	3	1
回答数	100	81	72

6) 就実大学図書館が発行する出版物について、読んだことのあるものを選んでください(複数選択)

	2年	3年	4年
就実紀要	5	3	4
図書館だより	17	14	22
薬学図書館	29	23	22
学生リクエスト	7	9	7
回答数	58	49	55

7) 就実大学図書館に期待するものは何ですか

	2年	3年	4年
蔵書の拡大	25	18	17
利用冊数の増加	8	7	6
利用期間の延長	24	20	17
図書館設備の増設	22	19	17
利用方法の簡略化	12	3	7
インターネットを利用した図書閲覧	15	12	9
回答数	106	79	73

B) 薬学部図書室(U館4階)の利用状況について

8) ひと月あたりの図書室の利用頻度について該当するものを選んでください(1つ選択)

	2年	3年	4年
利用しない	38	40	25
1回以下	38	25	28
1～2回	14	10	14
3～4回	10	6	4
5～8回	4	2	3
9回以上	5	5	6
回答数	109	88	80
非利用者の割合	34.9%	45.5%	31.3%

9) 利用する主な目的を選んでください(複数選択)

	2年	3年	4年
蔵書の利用	20	7	15
自習	71	54	58
インターネット回線	2	5	1
レポートの出力	1	2	3
コピー	10	10	15
勉強会	18	9	5
回答数	122	87	97

10) 薬学部図書室に期待するものは何ですか

	2年	3年	4年
図書室設備の増設	42	36	35
BGM	9	8	8
インターネット可能なパソコン設置	50	35	30
空調	26	15	17
照明	10	3	8
回答数	137	97	98

C) アンケートのフリーコメントについて

蔵書の種類増加と同一図書の蔵書冊数増加の要望、図書館内の設備や利用規則、利用する場合の快適性、開館時間の拡大、県立図書館との相互貸借制度の提案、などが指摘されている。

具体的なフリーコメントについて、一覧として提示する。

\*\*\*\*\*

## 就実大学図書館への要望 一覧

### 薬学部2年生からのコメント

購入希望が、1000円以上だったと思いますが、1000円以下も可能にしてほしい。

理系専門科目の図書の拡充

主に、文庫本の蔵書を増やしてほしい。

専門科目の図書の拡充

医学や薬学の専門書を増やしてほしい

3階の日本文学の棚ですが、目的の本が探しづらかったように感じた

おしゃれな机や椅子があり、居たら楽しくなるような場所にしてほしい。

長期休暇中も開いていてうれしい

自習できるスペースも多く、利用しやすい

パソコンがいつも使われていて、利用できない

月末に、図書館が休館なのでとても不便です

図書を早期に貸し出し可能な状態にしてください。

3階の個室が少し暑い

物語本が少なく、読みたい本がなかなか見つからない

パソコンの台数をもっと増やしてほしい

飲食している人がいなくなること

入学直後の図書館ガイダンスをあまり聴いていなかったので、本の借り方がよくわからない

利用者が少ない時に、全館設備の万全は少しもったいない

空調の使い過ぎは抑えてほしい

返却2日前ぐらいに、メールで知らせてほしい。

飲料水ぐらいは飲んでもいいと思う

閉館時間の延長をしてほしい

利用時間の延長

時間の延長

もう少し遅い時間まで利用できるようにしていただけると助かる

県立図書館からの図書を受け取り可能にしてください

県立図書館から気軽に借りられるようになってほしい

県立図書館からの図書を借りたり返したりできるようにしてください

### 薬学部3年生からのコメント

漫画をおいてほしい

専門書に関して、蔵書が少ない。

基礎系科目の蔵書拡大 "

インテリアを増やしてほしい

飲み物が大丈夫の場所を作ってほしい

空調整備をお願いします

個室スペースの利用時間を2コマ以上にしてほしい

勉強するために、図書館の開く時間をもっと増やしてほしい

利用時間を他の大学みたいに、もっと延ばしてほしい

利用可能時間の延長

利用時間を10時までにしてほしい

23時ごろまで開けていてほしい

利用時間の延長

日曜日や学園祭もあけて欲しい。

利用できる時間・期間を長くしてほしい。

開館時間を10時まで延ばしてほしい。

日曜日や祝日もあけてほしい。

利用時間の延長

日曜日の利用

閉館時間をもう少し遅くしてほしい。

祝日や日曜日も、開館していると助かる

#### 薬学部4年生からのコメント

蔵書を多くしてほしい

薬剤師国家試験関連書の貸出

改訂版の図書導入をお願いします

最新の専門教科書をそろえてほしい。

蔵書の拡大

参考書の種類をもっと増やしてほしい。

使用人数が多いため、参考書の数を増やしてほしい。

専門科目の蔵書が少なすぎる。

専門書の冊数増加

もっと机を増やしてほしい

飲食スペースがあると便利

企画展の実施

映画会の実施

本がどこにあるか分かりやすくしてほしい。

ゲート前のフリースペースを利用しやすい雰囲気にしてほしい

DVD の貸出

自習室の環境を整えてほしい

パソコンを増やす

入り方すらわからない。

座席数の増加

飲食コーナーを作してほしい

日曜祝日に開館してほしい

テスト前に利用時間を長くしてほしい

閉館時間を伸ばしてほしい

利用時間を長くする。

利用時間の延長

利用時間を延長してほしい

## 薬学部図書室への要望

机を増やしてほしい。

薬学部の図書室は、気に入っていて、自習しやすい

パソコンがあると便利

パソコンをおいて欲しい

インターネットが付いたパソコンをつけてほしい

(パソコンからコピーできるようにしてほしい)

薬学部にも大きい図書館を

図書館の専門書をU館に移してほしい。

蔵書は非常に少ない

\*\*\*\*\*

## 4. 考 察

A) 図書館を利用しない学生が各学年で22.4～30.9%を占め、上位学年で高値を示した。薬学部では実習が必須であり、上位学年では時間がないから利用できないのであればやむを得ない。

利用頻度は週1回以下が62.9%を示した。利用するフロアーは2階が53.1%、3階が33.7%であった。参考書などの閲覧や自習を目的とした利用と考えられる。

利用する図書のカテゴリーは、専門科目は平均48.0%と各学年で高値を示した。新聞その他は30.9%、教養自然科学は11.9%であった。教養自然科学の利用は学年進行とともに減少した。教養自然科学、語学、人文科学、社会科学は1年生を対象としなかったので低値を示したかもしれない。



利用形態においては、各学年の平均は閲覧が60.9%、借りるが17.7%であった。必要な情報のみを収集している姿を現わしているのであろう。別途、教科書1冊を熟読して体系的に学習していれば、学習方法としては問題無いであろう。蔵書検索機能を利用していない学生は全体で60.5%を示し、学生にはもっと利用していただきたい機能である。

図書館が発行に関与する出版物に対しては、パンフレット、図書館だより、薬学図書館、就実紀要などがあるが、認知度としては決して高くない状態である。ただし、パンフレットは学生が手に取りやすいためか、パンフレットを発行した後で図書館の利用率が増加したと図書館職員から聞いている。また、学生リクエストというシステムが存在するが、周知されているとは言い難い状況と思われる。せっかくのシステムを有効利用してもらうため、周知の方法を検討しなければならない。

学生が希望する図書館の改善点は、蔵書の拡大、利用期間の延長、図書館設備の増設などが22.5～23.6%を示した。インターネットを利用した図書閲覧については、電子書籍が話題になっている割には希望が少なかったと思われる。

札幌大学における調査<sup>2)</sup>と比較して、利用頻度においては同様の傾向を示している。今回は学年前期の比較的初期にアンケート調査を実施したので、実施時期の影響は容易に想像されるところである。調査時期の影響を考慮する必要があるとともに、経時変化を追跡するのも興味深いところである。

B) 薬図書室を利用しない学生が各学年で31.3～45.5%を占めたが、4年生の利用は低値を示した。図書館におけると同様、実習による時間制限のせいかもしれない。利用頻度は週1回以下が53.8%を示した。

利用する主な目的は自習が59.8%を示し、薬図書室が勉強場所の提供をしていることを窺わせる。他に、参考書を中心とした蔵書の利用は13.7%、コピー機の利用は11.4%、勉強会の場所としての利用は10.5%を示した。

学生が希望する薬図書室の改善点は、インターネット可能なパソコン設置が全体で34.6%を示し、個人のパソコン持参による薬図書室の利用という薬学部設立当初に決めた利用目的が形骸化している。もし、パソコンを設置するならば、長時間の利用が想定されるので、サーバーのような耐久性の高いパソコンが必要であろう。

C) アンケートのフリーコメントにおいては、主に3点について意見を集約できるものと思われる。第1に、図書館の開館時間の延長と開館日の拡大である。現状では、平日は9時から20時まで、土曜日は9時から17時まで開館している。希望は閉館時刻を延長して欲しいという点である。

岡山県大学図書館協議会 「相互協力協定参加図書館利用案内 2010年度」から抽出した図書館の開館時間一覧			
	平 日	土・日曜日	日曜日、祝日、その他
岡山大学附属図書館	9:00~23:00 休業期間中は別途	10:00~18:00 (休業期間中は閉館)	
岡山商科大学附属図書館	8:30~20:30	土 8:30~12:40	休館
岡山理科大学図書館	9:00~20:45 (休業期間中 9:00~17:00)	9:30~16:45 (休業期間中は閉館)	4月の日曜日、祝日、その他 休館
環太平洋大学附属図書館	9:00~19:00	休館	
山陽学園大学 ・同短期大学図書館	8:30~19:30(4月~7月) 8:30~19:00(9月~2月) ＊休業中は 8:30~17:00	土 8:30~17:00	休館 休業期間中 閉館
就実大学 ・同短期大学図書館	9:00~20:00	土 9:00~17:00	休館
中国学園図書館	月・火・木・金曜日 8:50~19:00 水曜日 8:50~17:00 補講・試験期間・長期休業期間は17:00まで	休館	休館
ノートルダム清心女子大学 附属図書館	9:00~20:00	土 9:00~16:00	休館
岡山学院大学 ・岡山短期大学図書館	9:00~17:30	土 9:00~13:10	休館
川崎医療福祉大学附属図書館	8:30~19:45 (休業期間中 8:30~17:00)	土 8:30~16:45 (休業期間中 8:30~12:30)	休館
倉敷芸術科学大学図書館	9:00~19:00 (休業期間中 9:00~17:00)	休館	休館
くらしき作陽大学 ・作陽音楽短期大学附属図書館	9:00~20:00 (休業期間中 9:30~18:00)	休館	休館
倉敷市立短期大学 付属図書館	9:30~18:15	休館	休館
岡山県立大学附属図書館	9:00~21:30 (休業期間中は9:00~17:00)	土 9:00~17:00 (休業期間中は休館)	休館
美作大学 ・同短期大学部附属図書館	8:30~20:00 (休業期間中 8:30~17:00)	土 13:00~17:00 (休業期間中は閉館)	休館
公立大学法人 新見公立大学附属図書館	9:00~20:00 (休業期間中 10:00~18:00)	10:00~18:00 (休業期間中も同一開館)	休館

一覧表<sup>3)</sup>に示すごとく、県内においては、就実大学図書館のみが極端に開館時間が短時間という感じではない。閉館時刻の延長を希望する学生の延長理由についてはアンケートの様式不備で不明である。現実的対応として、図書館を20時近くまで利用している学生を対象に、学生数、図書の利用か自習場所の確保などの利用目的を調査する必要がある。その上で、閉館時刻の延長を実施するのであれば、費用も含めた実施・運用方法、管理体制、大学内の建物の利用時間の整合性などについて議論すべきであろう。自習場所の確保だけではなく図書館を利用する必要は無いであろう。

第2に、県立図書館との相互利用制度を求めていること。就実大生が県立図書館で借りた図書の返却には県内の図書館まで出向く必要が生じるが、岡山県立図書館では借りた図書の返却は、借りた施設に返却する必要性はなく、岡山市立図書館や倉敷市立図書館でも返却が可能な体制を採用している。広範な相互利用制度が行き届いている<sup>4, 5)</sup>。コメントを入れた学生はこの点を指摘していると思われる。実施すると仮定するならば、相互貸借の可能性について調査する必要がある。

第3に、図書館が実際にサービス提供しているにも関わらず、学生がそのサービスを知らないという状況である。図書館における飲食は常識として避けるべきものと思われるが、希望として飲食できる場所の提供を訴える学生がいる。この点に対し、本学においては、図書館2階入り口付近に自由に利用できるスペースを確保している。さらに、図書の種類数や同一図書の冊数増が希望としてあるが、学生による図書の購入申請が出来るシステムを採用している。本来ならば、薬学生が積極的に図書館などに申請すべきことかもしれないと著者らは考えるが、今回のアンケートでは薬学生の要望が発掘できたとともに、薬学生の消極性が浮き上がったようにも理解できる。

最終的には、学生が図書館を有効に利用していくということが、図書館という存在が知的マルチメディアを有する施設として学生の学習支援を目的に機能することになる、と考えられる。中村<sup>6)</sup>は学生が図書館を利用する影響因子として、図書館利用方法の既知度、インターネット操作スキル、学業への動機づけ、空きコマの時間、などを挙げている。図書館側だけでは対応できない因子も含まれているが、大学が魅力ある講義を開講するとともに、時間的余裕のあるカリキュラムを構成し、図書館の有用性をアピールしていくことが肝要と思われる。

## 5. まとめ

本学薬学部学生2年生から4年生による就実大学図書館および薬学部図書室の利用に関するアンケート調査を行った。図書館を利用しない学生が各学年で22.4～30.9%を占め、利用頻度は週1回以下が62.9%を示し、閲覧が60.9%、借りるが17.7%であった。利用方法を知らない学生がおり、図書館におけるサービスを周知する必要性が示された。改善希望の項目については、全学的な対応となるため、今回の調査結果をその資料として利用し

て頂ければ幸いである。

#### 参考文献

1. わが国の大学図書館におけるラーニング・コモンズの事例研究 上田直人、長谷川豊  
祐 p.47-62 [http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/pdf/annals\\_07\\_06.pdf](http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/pdf/annals_07_06.pdf) 2013/06/16
2. 平成17年度「学生の図書館利用に関する調査」実施結果報告 札幌大学図書館  
<http://library.sapporo-u.ac.jp/SapUlibHP/tokeichosa/gakuseiriyol7.pdf> 2013/6/16
3. 岡山県大学図書館協議会 相互協力協定参加図書館利用案内 2010 年度  
<http://www.lib.ous.ac.jp/okayama.html> 2013/06/16
4. 岡山県図書館協会資料相互貸借規程  
<http://www.libnet.pref.okayama.jp/tosyokan/mokuhyou/kitei/okayamaken.htm>
5. 資料相互返却サービス マニュアル  
<http://www.libnet.pref.okayama.jp/riyou/far/sogohenkyaku.pdf> 2013/06/16
6. 中村和彦 大学図書館の利用に影響する要因は何か？—利用者特性と状況が図書館利用や情報探索行動に及ぼす影響— 南山大学 図書紀要 8号 p.3-25 2003